

(1 面)

- ・山王川調整池湛水試験
- ・高波地区完工式
- ・とやま水土里フォーラム

(2 面)

- ・農業・農村サポーター
- ・事故防止安全研修会
- ・第 14 回全国散居村サミット in 南砺
- ・豊かな村づくり表彰式
- ・基幹的農業水利施設の施設監視

となみのみどりつうしん

第 31 号

令和元年 11 月 22 日

富山県砺波農林振興センター
 農業農村整備広報・広聴連絡会議
 〒939-1386 砺波市幸町 1 番 7 号
 電話(0763)32-8124【指導課】



農地防災事業附帯県営「山王川調整池」湛水試験

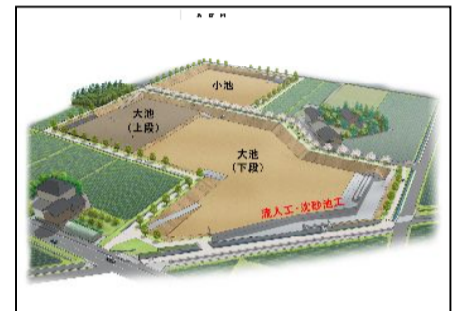
○庄川左岸地区では国営で 2 箇所、県営で 7 箇所、両事業合わせて 9 箇所の洪水調整池を設置する計画となっており、今回紹介する山王川調整池は 7 つ目に完成した調整池になります。平成 25 年度から 6 ヶ年をかけ平成 30 年度に完成しました。計画貯水量 V=65,560m³、最大洪水調整量 Q=6.643m³/s、大池（上段、下段）、小池といった諸元となっており、県営事業で造成する中で一番大きな調整池です。

山王川用水路を大型土嚢により締め切って、9 月 24 日（火）から 27 日（金）の 4 日間調整池に流入させました。

洪水時と異なり、綺麗な用水を流入させたため、貯留した水は透き通り、近隣の多くの方々も見学に来られました。また、通学路に接しているため、登下校の小学生も足を止めて見入っていました。

近年、全国的には災害級の豪雨が猛威を振るっています。幸い富山県ではあのような水害は起こっていませんので、まずは災害が起こらないことを願うばかりですが、当事業にて想定しているような豪雨となった場合は、この調整池が役割を果たし、調整能力を発揮するものと思われま

山王川調整池 諸元	
計画貯水量	V=65,560m ³
(容量内訳)	
大池 (下段)	V1=35,315m ³
大池 (上段)	V2= 8,557m ³
小池	V3=21,983m ³
計画貯水深	H= 2.7m
調整池底面積	A=24,640m ²
最大洪水調整量	Q=6.643m ³ /s
洪水調整期間	t= 5.5時間



農地整備事業「高波地区」完工式

○農地整備事業「高波東部地区」「高波西部地区」の完工式が 11 月 5 日（火）に、夏野市長、米原県議会議員、瘧師県議会議員をはじめ地元関係者、工事関係者など多数の招待者出席のもとに執り行われました。

本地区は砺波市の市街地北部に位置し、昭和 44 年～昭和 48 年にかけて 1 筆 45 アール区画の基盤整備がなされましたが、整備後約 50 年の経過とともに老朽化によって施設の維持管理に多大な労力を要していました。そうした中で、平成 21 年度に「高波東部地区」、平成 23 年度に「高波西部地区」が着工し、両地区合わせて約 30,000m²の用排水路整備を進めてきました。それぞれ平成 27 年度、平成 30 年度に事業が完了し、晴れて「高波地区」の完工となりました。本地域では米、麦、大豆のほかにもたまねぎやチューリップといった砺波を代表する作物を育てており、今後より一層活力に満ちた農業農村づくりが期待されます。



とやま水土里フォーラム in 黒部

○10 月 8 日（火）黒部市にて「令和元年とやま水土里フォーラム」が開催され、土地改良区、県及び市の関係者など、約 600 人が参加しました。

フォーラムは午前の部と午後の部から成り、午前の部では、土地改良施設が有する多面的機能の発揮等、優れた維持管理活動を実践している団体・個人に対して「とやま水土里賞（知事賞）」の表彰式が行われ、県下全体で 4 名（団体）が受賞しました。砺波管内からは、「山田新田用水地区委員会（南砺市）（代表細川哲）」が受賞し、長年のご功績が称えられました。その後、受賞者を代表し、山田新田用水地区委員会から活動事例の報告があり、水路施設、管理活動及び広報活動等が紹介されました。

次に、京都大学大学院工学研究科「藤井 聡」教授から「農業農村と国土強靱化」をテーマとした基調講演がありました。

午後の部では、愛本堰堤や十二貫野湖等の土地改良施設を巡る現地研修があり、参加者一同熱心に説明者の話を聞いていました。

一方、会場では特産品の販売やパネル・ブース展示、農業用コンクリート二次製品の展示が行われ、関心を集めていました。

今後もこのような取組みを通じて、土地改良施設の有する多面的機能や適切な維持管理の重要性について情報発信していきます。



農業・農村サポーター



○10月14日(月・祝)に「とやま農業・農村サポーター in 南砺市利賀」が行われました。自然栽培に取り組まれている利賀百姓塾がサポーター募集をし、10名のサポーターと地域の方々、合わせて約20名で稲の手刈りと稲架掛け作業を行いました。サポーターは稲の手刈り初心者ばかりでしたが、地域の皆さんに教えていただきながら、楽しく取り組むことができました。午前中のうちに稲をすべて収穫することができ、きれいに掛けられた稲を見て、達成感を味わうことができました。

○とやま農業・農村サポーターとは？

とやまの農村で、地元の人達と農村の共同作業や農作業に汗を流すボランティア活動です。農業用水の清掃や草刈、除雪、鳥獣害防止柵の設置、祭りなどの伝統行事のお手伝いもあります。自分に合った活動を探してみてください(^^♪



事故防止安全研修会

○二次製品フリーム布設時の労災事故を防止するため、(株)ケンチ、根尾建設(株)を講師に招き、10月7日(月)砺波総合庁舎大会議室において事故防止安全研修会を開催しました。

本研修会には、土地改良区及び市、県の工事担当者25名が参加し、バックホウクレーンモードによるフリーム荷吊り時の注意点や狭小現場でのフリーム布設の新工法等を学びました。

その後、砺波市太田の水路工事現場へ移動し、実際にフリーム水路を施工している現場を見学し、布設方法や注意点等を学びました。

今後は、ここで学んだこと等を受け、事故防止に努めていきます。



座学状況



ベンチフリームの吊り上げ講習状況

第14回全国散居村サミット in 南砺

○10月23日(水)「全国散居村サミット in 南砺」が南砺市いのくち椿館で開催されました。

散居がある全国8市町から首長、議長が出席され、8市町による総会・意見交換の後、砺波散居村地域研究所長の金田章裕氏から「砺波散居の成立と特徴」と題して基調講演、続くパネルディスカッションでは、「散居景観を活かした地域づくり」に必要なこと等について意見交換がありました。

最後に全国散居村サミット共同宣言が採択され閉会となりました。



イベント開催案内♪



☆11/27(水)

第76回 農業農村工学会 京都支部 研究発表会 (和歌山県民文化会館)

☆11/29(金)

令和元年度砺波管内農地林務優良工事表彰式 (砺波農林振興センター)

豊かな村づくり表彰式

○11月12日(火)北陸農政局(金沢市)にて表彰式が執り行われ「新屋敷地区農村環境向上推進協議会(砺波市)」が北陸農政局長賞を受賞いたしました。新屋敷は砺波市中央部に位置しカインヨに囲まれた家々と新興住宅の混住化が進んでいる地区で、平成19年の協議会設立から非農家との協働活動を展開しています。

今回の受賞は隣接集落も含めた800mに及ぶ芝桜が県内外から注目されるなど、景観づくりと集落ぐるみの活動が評価されました。



基幹的農業水利施設の施設監視の実施

○10月2日(水)～10月10日(木)の間に砺波管内の土地改良区のうち、5つの土地改良区にて、基幹水利施設の施設監視が行われました。砺波管内では14箇所の定点調査を行いました。最適と判断される時期に対策工事の実施が必要なため、毎年調査を行っておりますが、今年は何の水路も昨年度から大きな変化はありませんでした。



管内の基幹的農業用水路の施設調査状況



編集後記

立冬が過ぎ、朝毎に冷気が加わるこの頃、皆様体調の変化はないでしょうか。季節の変わり目に弱い私はやはり風邪を引いてしまいました。さて、令和元年最初の秋は過去に類をみない、台風や豪雨被害で千葉県をはじめ、長野県等多くの農地被害が出ています。収穫間近の農産物が無残に泥まみれになっている報道を見ると、生産者の悲痛が強く伝わり、心苦しく感じました。災害はいつ何時わが身にふりかかるかわかりません。備えあれば憂いなし、皆様方、気を引き締めて、よい年をむかえましょう。(農地整備第一班 記)

富山県砺波農林振興センター



砺波農林

検索

砺波農林振興センター ホームページ トップ画面

☆砺波農林振興センター

管内の情報をホームページで発信中!!

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1633>

